

## 第1分科会

# 新たな時代の保育と教育の実践

～すべての子どもにむけて～

保育所（園）・認定こども園は、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、子どもの健全な心身の発達を図るとともに、多様な保育ニーズに応えながら、各園の創意工夫のもと保育・教育実践をすすめています。その中で乳幼児期は、子どもが生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期であり、保護者はもちろんのこと地域や小学校など幅広い関係者との連携のもとに、一人ひとりの子どもの発達をふまえ、誕生から就学前、さらにその後の成長を見据えた保育と教育の実践が求められています。

また乳幼児期は、様々な遊びをとおして多様な活動を経験することによって、豊かな感性を養うとともに、生涯にわたり学ぶ意欲やその姿勢の基となる好奇心、探究心を培いながら子どもの育ちを支えていくことが大切です。そのため、保育所（園）・認定こども園における保育士・保育教諭等には、乳幼児一人ひとりの内面にひそむ芽生えを理解し、その芽を引き出し伸ばすために、乳幼児の主体的な活動を促す適切な環境を計画的に設定することができるような専門性をもつことが望まれます。

本分科会では、乳幼児期から児童期への円滑な移行をふまえ、各保育所（園）・認定こども園等が提供する保育・教育の質を向上させていくための実践のあり方について研究討議します。

### 【研究の視点】

- ① 乳幼児期における質の高い保育と教育のあり方について
- ② 乳幼児一人ひとりの個性に配慮したきめ細かな保育、教育実践の提供について
- ③ 家庭・地域社会、小学校等との連携の取り組みや支援について
- ④ その他

【司会者】	南砺市立福光南部あおぞら保育園	園長	中川	晶子
【助言者】	東京成徳短期大学幼児教育科	教授	寺田	清美
【幹事】	福) 幼保連携型認定こども園 やまむろこども園(富山市)	園長	岡本	紀子
【記録者】	福) 黒部愛児保育園(黒部市) 滑川市立坪川保育所	園長 主任保育士	岩井 足谷	清美 静香
【意見発表者】	福) 幼保連携型認定こども園 おおひろたこども園(富山市) 朝日町立さくら保育園	主幹保育教諭 所長代理	辻本 佐渡	さよ 祥子

---

## 第2分科会

# 配慮を必要とする子どもや家庭への支援に向けて

## ～インクルーシブ保育の視点から～

---

保育所・認定こども園等では、発達障害、医療的ケア児、要保護児童など配慮を必要とする子どもの増加が指摘されてきています。また保護者自身が生活面など何らかの課題をもち、子育てに困難が生じるケースも増えています。

本分科会では、こうした子どもや保護者に対する保育・子育て支援関係者としてのかかわり方、あるいは保育者としていかに寄り添い、支援をおこなうべきかについて、研究を深めます。

### 【研究の視点】

- ① 障害の有無にかかわらず、すべての子どもと分け隔てなく一緒に保育を行う支援について
- ② 保育・子育て支援関係者としていかに寄り添い、かかわり、あるいは保育者として、支援を行うべきか（地域や関係機関との連携等）

【司会者】 富山市立船嶽保育所 所長 木下 裕子

【助言者】 山梨県立大学看護学部 教授 阿部 美穂子

【幹事】 氷見市阿尾保育園 園長 出戸 美智代

【記録者】 南砺市立福野おひさま保育園 園長 中段 久美子  
富山市立太田保育所 所長 折江 佳子

【意見発表者】 富山市立雲雀ヶ丘保育所 所長 大村 純子  
南砺市立福光どんぐり保育園 副園長 松居 英利子

### 第3分科会

## 保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を発信する

～より質の高い保育を進めるために～

保育所・認定こども園等における今日的状況として、職員の就業形態や雇用形態の多様化とともに働き方改革がすすめられています。職員間の連携、チームワークの形成や、職場全体としてのスキルアップとともに、働きやすい職場づくりに一層留意する必要があります。

子ども・子育て支援制度施行後、多様化する利用者のニーズに対応するとともに、保育現場の魅力を発信しながら、人材の確保・育成に努めていく必要があります。

本分科会では、保育所・認定こども園等の内外の研修や情報共有のあり方、保育者の自己評価など、職員の資質向上にむけた効果的な実践と保育現場の魅力発信の取り組み、さらには保育現場に求められる働きやすく、やりがいのある職場づくりについて研究を深めます。

#### 【研究の視点】

- ① 保育士等の資質向上に努め、質の高い保育を展開するための取り組みについて
- ② 働きやすく、やりがいのある職場づくりのための取り組みについて
- ③ 保育者が研修意欲を高め、積極的に研修受講に取り組む環境づくりや情報共有のあり方について
- ④ 保育者の自己評価など、職員の資質向上にむけた効果的・具体的な実践のあり方について

【司会者】 福) 幼保連携型認定こども園 園長 金屋 栄子  
ほんごうこども園(魚津市)

【助言者】 富山短期大学幼児教育学科 教授 石動 瑞代

【幹事】 福) 幼保連携型認定こども園 園長 堀 達也  
じんぼ保育園(富山市)

【記録者】 福) 幼保連携型認定こども園 園長 吉田 勝代  
ふたばこども園(高岡市)  
福) 喜志麻保育園(南砺市) 園長 竹中 友佳子

【意見発表者】 福) 南部保育園(高岡市) 主任保育士 加藤 賀絵  
滑川市立あずま保育所 所長 石坂 明美

---

## 第4分科会

# 家庭や地域との連携による食育の推進

～子どもが自らの感覚や体験を通して、

食べることを楽しめる子どもに育つために！～

---

乳幼児期の食育の推進は、「食べる」ことや「いのち」への関心、さらに適切な食習慣の形成において大変重要です。そして食に関する家庭との相互理解、さらには地域子育て家庭にむけた食育実践や地域の食文化継承などの視点から、保育所・認定こども園等のみならず家庭や地域との連携のもとで実践を進めることが必要となります。

さらに保育現場では、自園調理の意義や有用性の確立ならびに、食物アレルギーをもつ子どもへの対応等も大きな課題となっています。

本分科会では、保護者、家庭や地域と連携した食育の実践、食物アレルギーへの対応、食とおした保育実践のあり方などについて研究を深めます。

### 【研究の視点】

- ① 生活と遊びを通して、子ども自ら意欲を持って食に関わる体験について
- ② 保育所(園)・認定こども園の各職種の専門性を活かした連携、および家庭・地域の関係機関との連携について
- ③ 食物アレルギーや体調不良、宗教的理由など、特別な配慮を必要とする子どもへの食事対応について

【司会者】 砺波市教育委員会 こども課 主 査 森 祐貴子

【助言者】 富山短期大学 食物栄養学科 教授 太田 裕美子

【幹事】 射水市立池多保育園 園 長 本林 美香

【記録者】 福) 幼保連携型認定こども園 園 長 杉森 かおり  
上滝保育園(富山市)  
富山市立朝日保育所 所 長 笠島 愛子

【意見発表者】 福) おおふせ認定こども園(黒部市) 栄養士 大谷 花乃  
福) 幼保連携型認定こども園 副園長 梅澤 郁代  
東山保育園(富山市)

---

## 第5分科会

# 保育の社会化にむけて

## ～保育の営みをいかに社会に発信するか～

---

少子化や核家族化がすすむなか、社会における人と人、とくに子どもとおとながつながる場面が少なくなりつつあり、社会における子ども・子育てへの関心低下につながっています。こうしたなか、子育て家庭や保育関係者にかぎらず、すべての人が子どもや子育てに関心をもつ取り組みが、安心して子どもを産み育てることができる社会づくりにむけて大切です。

本分科会では、保育所・認定こども園等の地域にむけた諸活動の展開により、広く地域や国民に対して子ども・子育てへの関心や保育の営みの重要性を発信し、地域全体で子育てを考えていく取り組みについて、研究を深めます。

### 【研究の視点】

- ① 保育所（園）・認定こども園として、地域や関係機関との関係作りについて
- ② 地域における子育て支援の役割と孤立や孤独を防ぐ具体的な取り組み等について
- ③ 地域における公益的な取り組みについて

【司会者】 小矢部市立石動きらりこども園 園長 宇治山 晴恵

【助言者】 富山短期大学幼児教育学科 准教授 明柴 聰史

【幹事】 小矢部市立水島保育所 所長 明石 真澄

【記録者】 黒部市下立保育所 所長 高澤 亜希子  
高岡市西部保育園 園長 長柄 美香

【意見発表者】 福) 幼保連携型認定こども園 保育教諭 和世 美樹  
津沢こども園(小矢部市)  
高岡市伏木古府保育園 副園長 中村 祐子